

「あなた方が出してきたエネルギー - はすさまじいです。私に向けるあなた方の思いはととてもとても苦しいです。私は今あなた方のその流してきたエネルギー - をこういう形で示しています。私を思うあなた方の思いが苦しいのです。」気付いてください。気付いてください。あなた方の過ちに気付いてくださいと、三宅島は切々と訴えていました。意識を向けさせてもらったときの思いは、苦しいけれど嬉しい、それが愛ですということを私たちに訴えているような感じがしました。

島は生きていました。島は訴えていました。島は伝えてくれていました。私はやはり他人事でした。島は島でした。意識を向けてみても、はっきりと分からないと勝手に思い込んでいました。周りはずべて教えてくれていたのでした。波動を感じていくということ、意識を向けていくということがいかに大切なことであり、またそうすることにより意識の世界をこの心で実感できるのだと思いました。崩れゆく形の世界に心をとられることなく、そこから感じられる温かい思いに心に向けて、田池留吉の波動の世界を信じていきたいと思いました。